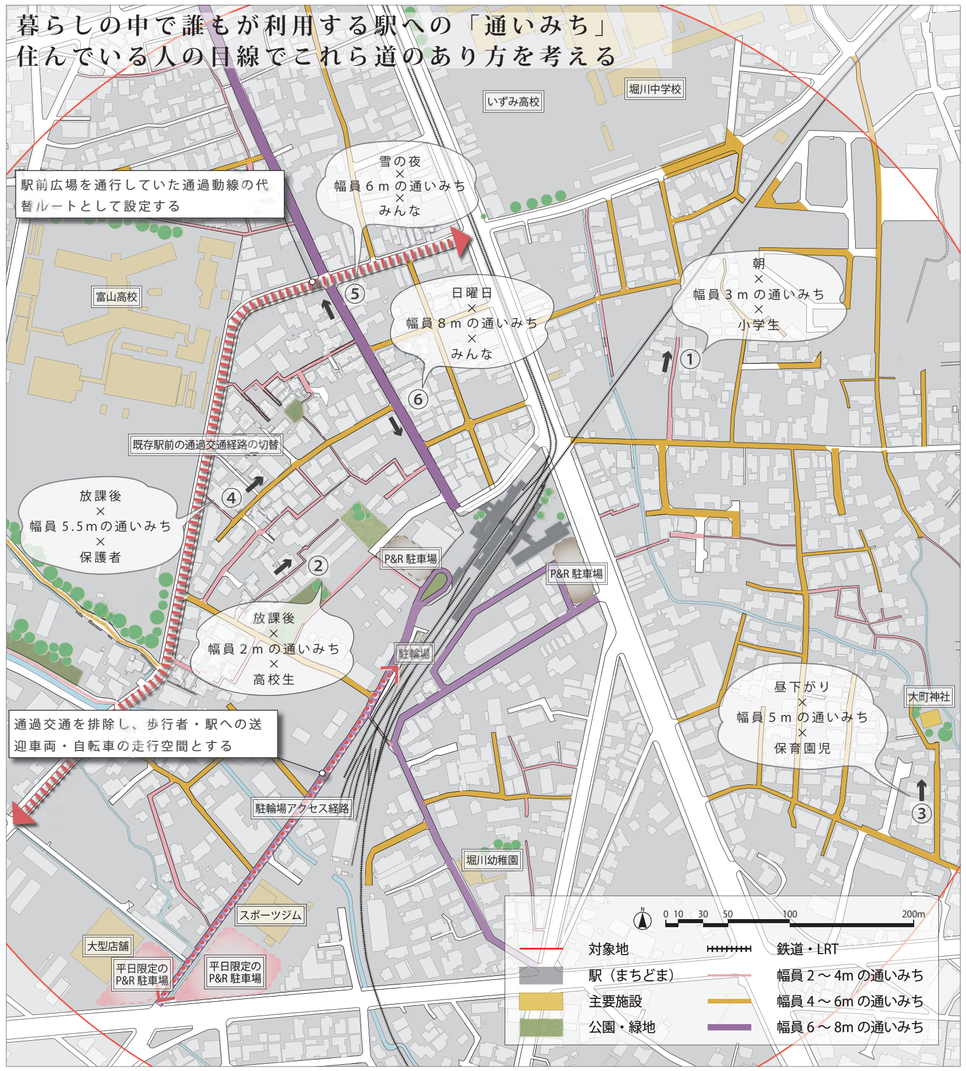
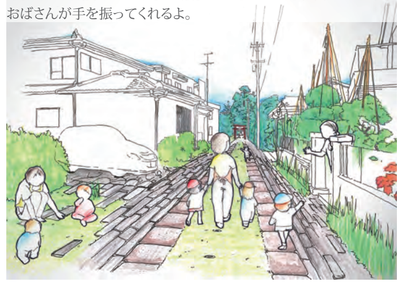
# 通いみちについて



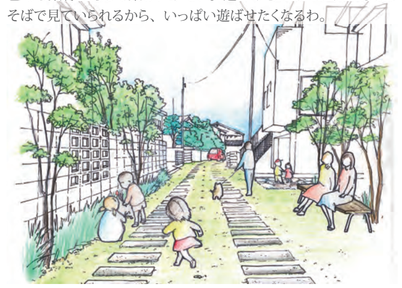

①朝 × 幅員３ｍの通いみち × 小学生
家の裏の通いみちが通学路。細長い石だけを歩くのがお気に入りなんだ。道からみんなの家が見えるから、挨拶しながら歩くよ。

②放課後 × 幅員２ｍの通いみち × 高校生
石畳のこの道は、地元の人しか通らない寄り道スポット。今日は大きな縁台に座って、庭の手入れをするおばあちゃんとお喋り。

③昼下がり × 幅員５ｍの通いみち × 保育園児
くるまがあまり通らないから、よくお散歩するよ。ふかふかの芝生を歩くのは気持ちいいね。お散歩のときはいつも、向かいの家のおばさんが手を振ってくれるよ。

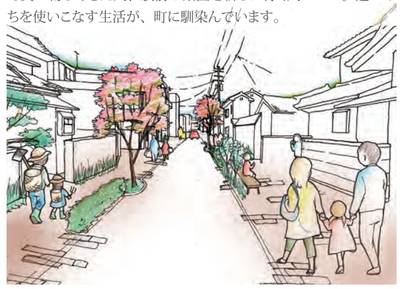


④放課後 × 幅員５.５mの通いみち × 保護者
こども達はいつもこの道で遊びながら帰るの。石や芝生や草木、色んな素材があって楽しいみたい。通いみちにはベンチがあってそばで見ていられるから、いっぱい遊ばせたくなるわ。

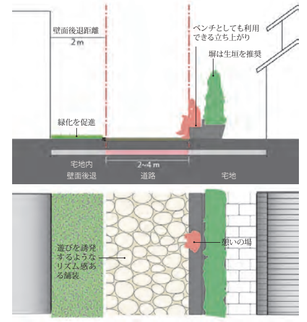


⑤雪の夜 × 幅員６ｍの通いみち × みんな
新しいスノーポールは、柔らかな灯りで道を照らしながら、歩車道の境界を示してくれる。雪の夜の外出も、通いみちなら安心。

⑥日曜日 × 幅員８ｍの通いみち × みんな
駅まで続く通いみちは、休みの日には町の人でいっぱい!富山駅で買い物してきた人、駅前の菜園を耕しに行く人・・・。通いみちを使いこなす生活が、町に馴染んでいます。



## ◆幅員 2m ～ 4m の細街路への提案　整備方針：歩行者専用とする

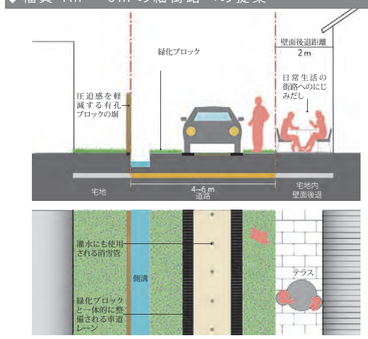



- 幅員が 4m に満たない細街路のうち、地域住民にとって駅へのアクセス路となっているものは歩行者専用道路として再整備します。
- 住民の生活空間として利用される街路空間を目指します。

**整備内容**

- 塀などをつくる場合は、ベンチとして利用できる立ちあがりやプランター等の憩いの場を街路に面して設け、後ろに生垣を設置します。
- 将来的に幅員を広げる為、道路中心から 2m の箇所に壁面後退線を設け、後退部分は緑化します。
- こどもの路上での遊びを誘発するような、自然石材のリズム感ある舗装とします。

## ◆幅員 4m ～ 6m の細街路への提案　整備方針：歩車共存とする

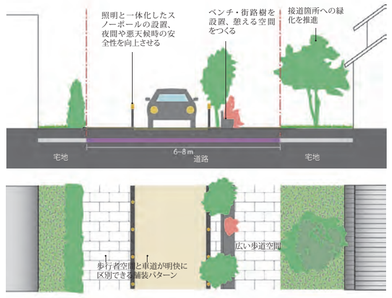



- 幅員が 6m に満たない細街路は、歩車共存のコミュニティ道路とします。
- 日常生活の利便と安全を確保しながらも、特徴ある緑の景観をつくりだします。

**整備内容**

- 一方通行とし交通量を調整します。
- 車両が通行できる場所を緑化ブロックで規定し、通過速度を下げ安全性を向上させます。
- 道路境界線から 2m の位置に壁面後退線を設け、壁面後退の範囲には緑化と一体となったテラスや駐車スペースを設けます。
- 既存のブロック塀は補助金の制度を設けるなどし、高さの低い生垣や有孔ブロック等、圧迫感を軽減する設えにするよう誘導します。

## ◆幅員 6m ～ 8m の道路への提案　整備方針：歩車分離する



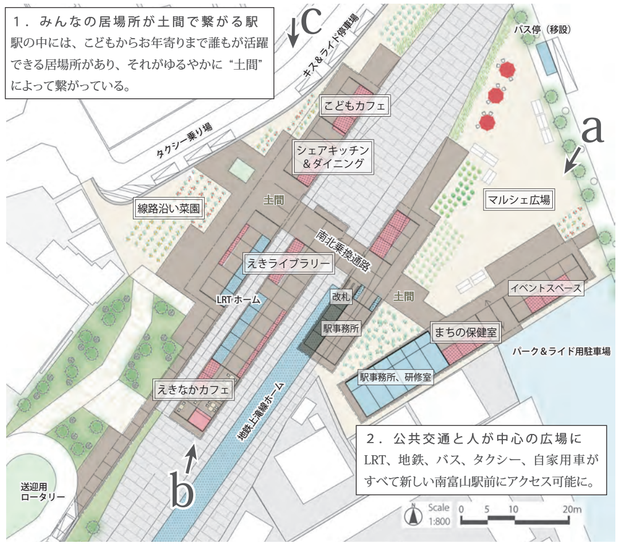

- 幅員が 6 ～ 8m の道路で駅に繋がるもののうち、可能な場所は一方通行にして歩道を拡幅し、快適な歩行空間を確保します。
- 大雪など天候が悪いときも安全に通行できるよう設えます。

**整備内容**

- 車道の幅員を狭め、歩道部分を拡幅します。
- 車道と歩道の舗装を明確に変え、わかりやすく歩行者空間を示します。
- 歩道部分にはベンチや街路樹を設置し、周辺住民の屋外活動を促します。
- 宅地接道部の緑化を助成金により誘導します。
- 照明と一体のスノーポールを設置します。

# まちどまについて

1．みんなの居場所が土間で繋がる駅
駅の中には、こどもからお年寄りまで誰もが活躍できる居場所があり、それがゆるやかに“土間”によって繋がっている。




2．公共交通と人が中心の広場に
LRT、地鉄、バス、タクシー、自家用車がすべて新しい南富山駅前にアクセス可能に。

# 事業スキーム・段階整備

## ◆事業スキーム

行政・鉄道事業者は、地域住民が日常的に利用できる空間を整備する。街路内の緑地の整備・部分管理や、駅前広場でのイベント運営、駅舎内シェアスペースの管理や使い方提案などはワークショップなどを通じて地域住民によって行うことを想定します。

| | 街路整備<br>舗装整備・緑化など | 駅舎<br>LRT 乗り場、駅舎新設など | 駅前広場<br>マルシェ企画、菜園など | 駅関連施設<br>シェアキッチン、待合施設など |
|---|---|---|---|---|
| 整備主体 | 行政 | 鉄道事業者 | 行政 / 鉄道事業者 | 行政 / 鉄道事業者 |
| 管理・運営 | 行政 / 地域住民 | 鉄道事業者 | 行政 / 地域住民 | 地域住民 / 鉄道事業者 |
| 所有者 | 行政 | 鉄道事業者 | 行政 | 鉄道事業者 |

## ◆段階整備計画

**①まちづくり協議会設立**
駅周辺の整備を行うにあたり、地域住民・行政・事業者によるまちづくり協議会をつくります。細街路の美化など、まずはワークショップなどにより住民主体の活動を行い、まちづくりへの気運を高めます。

**②駅周辺の基盤整備**
駅前広場整備、道路付け替えや駐車場整備などの基盤整備を行政と事業者が先行して行います。通過交通を駅前から排除し、キス＆ライドを促進させるなど、まちの生活スタイルを更新していきます。

**③駅舎建て替え**
誰もが使える「まちどま」の構想を住民と事業者がワークショップを通じて考えていきます。住民が提案する「まちどま」のソフトの提案に応えるような空間を計画し、既存駅舎を建て替えます。

**④駅への通い道を整備**
駅から半径 500m を中心とした、駅への通い道を整備します。地域住民の実際の歩行動線・また将来のまち計画などに基づいて、ミクロなスケールで整備する街路を決めていきます。

この資料は、富山市長の承認を得て、同市 2500 分の 1 基本図を使用して作成したものである。（承認番号）平成 27 年 8 月 27 日富山市情第 75 号